

ドクター通信

⑥

滲出性中耳炎について

市立総合病院耳鼻咽喉科医長 宇佐美 真一

最近、雑誌や新聞の健康欄などで「滲出性中耳炎」という病名を見かけた人がいるかもしれない。これまで耳鼻科の日常診療というと、副鼻腔炎（いわゆる蓄膿症）、急性中耳炎、扁桃炎などが一般的でしたが、近年耳鼻科の外来で急増し、ポピュラーな疾患の仲間入りをしたものに、アレルギー性鼻炎とこの滲出性中耳炎の二つがあります。

ふだんから注意を

耳と鼻は耳管という管でつながっていますが、この機能が悪いと中耳腔に貯留液がたまりやすくなります（図2）。また最近では、急性中耳炎、上気道感染、副鼻腔炎など、炎症性疾患と密接に関連していることも明らかになってきました。

治療する際、耳管機能不全や炎症性疾患があればまずこれらを治療することから始めます。この疾患は不思議なことに経過観察だけで自然に治癒していく場合もあります。しかし、数カ月治療しても改善が見られないときには、鼓膜を切開して細いチューブを耳に挿入し、排液を促すとともに換気を良くする治療法がとられます（図3）。ほんの小さなチューブですがその効果は劇的で、顕著な聴力改善が得られます。ただこのチューブは、ある程度長い間挿入しておかなければなりませんから、管理上多少の煩わしさがありますが、我慢しなければなりません。いずれにしても、就学前後の大事な時期に、聴こえが悪いというのは大問題です。ふだん子供を見ていて、テレビの音量を大きくするとか呼んでも返事をしないとか、気が付いたら一度専門医に相談することをお勧めします。

こどもに多い

滲出性中耳炎は、中耳に滲液がたまる（図1・2）ことからその名が付けられました。この疾患に対する関心の高まり、診断技術の進歩や学校検診の普及により、その実体が次第に知られるようになってきました。この疾患は急性炎症症状、すなわち耳痛や発熱のない中耳炎と定義されていますが、難聴の原因となるこの疾患で特に問題なのは五、六歳といった就学前の子供に多くみられることです。一般に、子供は大人と違って少々

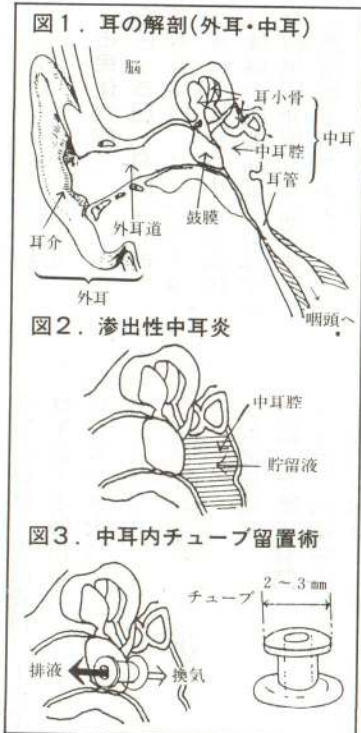
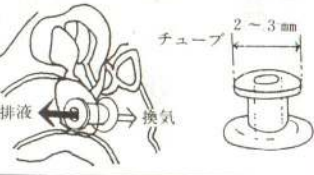


図1. 耳の解剖(外耳・中耳)

図2. 滲出性中耳炎

図3. 中耳内チューブ留置術



芸術の秋・・・文化会館でひとときを・・・

—市民文化会館主催事業ご案内—

文化庁移動芸術祭

チャイコフスキー記念東京バレエ団公演
東京シティフィルハーモニック管弦楽団

とき・11月27日(月) 午後6時30分開演
S席・4,000円 A席・3,500円 B席・1,500円
入場券は10月25日から発売

演劇の夕べ

『釈迦内枢唄』 浅利 香津代 ほか

とき・11月28日(火) 午後6時30分開演
全席自由・1,500円 入場券は10月25日から発売
※作家 水上勉 氏の講演は、同氏が病気のため、とりやめとなりました。ご了承ください。

「ご存知一心太助」
万屋錦之介特別公演

とき・11月5日(日)
開演・1回目 午後2時
2回目 午後6時30分
S席・3,000円
A席・2,700円
B席・2,500円
入場券発売中!
お早目にどうぞ!